

2022年9月7日

## サトウのごはん 年間4億食へ

～ 生産ライン増設45億円 ～

サトウ食品株式会社（本社/新潟市、代表取締役社長/佐藤 元、以下「当社」）は、約45億円を投じて、当社のパックごはん専用工場である聖籠ファクトリー（新潟県北蒲原郡聖籠町）に新たな生産ラインを増設することを決定いたしました。

これにより、聖籠ファクトリーの生産ラインは現在の1ラインから2ラインに増加し、当社の米飯ライン数は9ラインから10ライン体制となり、「サトウのごはん」の生産能力は、現在の日産約103万食から123万食へ大幅に伸長いたします。（年間では4億食体制）

当社は、1988年に世界ではじめて無菌化包装米飯「サトウのごはん」を世に送り出して以来、「ご家庭で炊いたごはんと変わらぬ美味しさ」をコンセプトとして生産の拡大と品質の追求に努めてまいり、これまでに多くのお客様から高い評価をいただいております。

この間、消費者の生活スタイルの変化とともに、パックごはんの需要は高まり続け、以前の「非常食」という位置づけから、「日常食」としての地位を確立するに至りました。

昨今では、日常の食卓での利用機会が増加している事や、輸入穀物の価格高騰による米食への回帰などもあり、パックごはん市場の更なる拡大が見込まれております。

当社におけるパックごはんの売上高も、この10年間で約2倍にまで伸長し、当年度の第1四半期の売上高についても前年同期比14.0%増と右肩上がり成長を続けております。

こうした当社を取り巻く事業環境の変化を背景として、当社は今後も市場の需要に応えつつ、持続的な企業価値の向上を実現していくためには、パックごはんの一層の生産体制の強化が不可欠であると考え、生産ラインを増設いたします。

今回の設備投資により、さらなる生産効率の向上と作業負荷の軽減をはかり、安定的に安心・安全な商品を市場に供給する、持続可能な生産拠点の実現に努めてまいります。

### ■増設設備の概要

所在地：新潟県北蒲原郡聖籠町東港5丁目6-2-6番23ほか

投資額：約45億円

生産品目：無菌化包装米飯「サトウのごはん」

生産能力：日産20万食 年間6,500万食

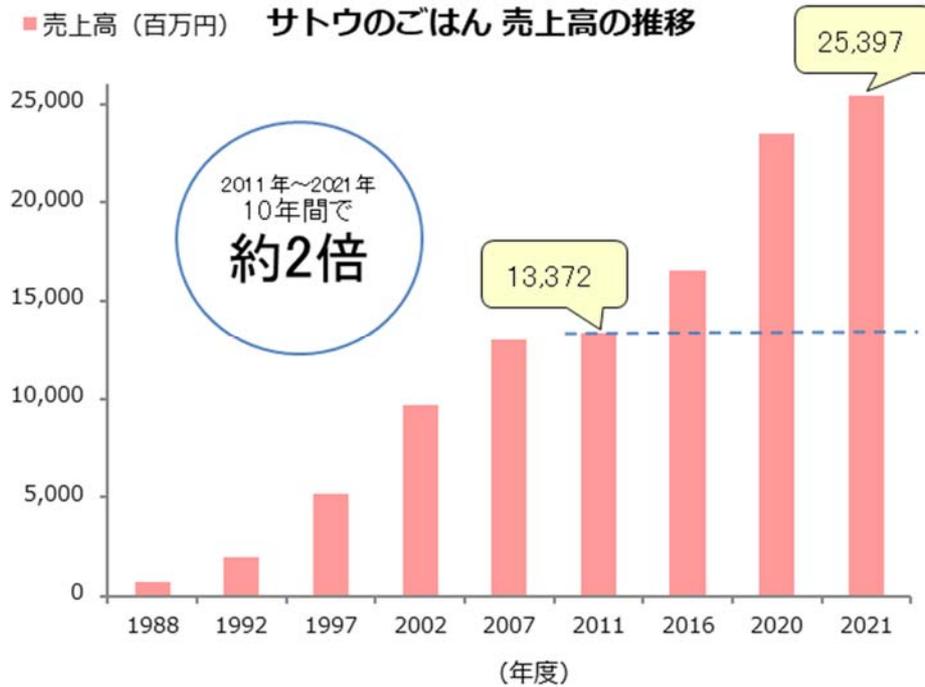
着工・稼働：2023年3月着工、2024年2月生産開始（予定）

■当社のパックごはん生産能力（日産）

工場	2024年1月まで	2024年2月以降
北海道工場（岩見沢市）	2ライン・20万食	2ライン・20万食
東港工場（新潟県北蒲原郡聖籠町）	6ライン・63万食	6ライン・63万食
聖籠ファクトリー （新潟県北蒲原郡聖籠町）	1ライン・20万食	<b>2ライン・40万食</b>

合計 9ライン・103万食 **10ライン・123万食**

【サトウのごはん売上高の推移】



年度	1988年	1992年	1997年	2002年	2007年	2011年	2016年	2020年	2021年
売上高 (百万円)	738	1,977	5,157	9,669	12,978	13,372	16,536	23,513	25,397

【聖籠ファクトリーの主要生産品目】



サトウのごはん 新潟県産コシヒカリ

【聖籠ファクトリー外観】

